

【科目名】運動器疾患理学療法学実習		【担当教員】高橋洋/佐々木理恵子						
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0625-0-1	(メールアドレス)【高橋】 hiroshit@nur05.onmicrosoft.com 【佐々木】 sasaki@nur.ac.jp						
【開講時期】3年次前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)						
【単位数】2	【コマ数】23	【高橋】月、火、木、金 8:00～17:30 【佐々木】月、水、木 8:30～17:30 (事前にアポイントをとることが望ましい)						
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと (受講のルールに関わる情報・予備知識) 【高橋】腰部、頸部の解剖について復習しておくこと 【佐々木】上下肢の解剖について復習しておくこと								
【講義概要】 (目的) 【高橋】腰痛疾患、頸腕部疾患の病態、評価、理学療法、予防について講義し、実技を行う。関節リウマチの病態、評価、理学療法について講義する。 【佐々木】骨関節疾患に対する理学療法プログラムの作成に向けて基本的な考え方を修得する。 (方法) 資料を配布する。								
【一般教育目標(GIO)】 【高橋】腰痛疾患、頸腕部疾患の評価を習得するために、腰部・頸部の触診ができ、理学療法についてその原理を理解する。関節リウマチの評価ができるために、病態、評価、理学療法の原理を理解する。 【佐々木】骨折・外傷・変形性関節症に対する理学療法が行えるように、それぞれの病態、評価、理学療法を理解する 【行動目標(SBO)】 【高橋】腰部、頸部の触診ができる。関節リウマチの評価を上げることができる。 【佐々木】骨関節疾患の評価および治療法が考えられる。								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 期末試験、実技により総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テ	レポート	成果	実技	ポートフォ	その他	合計

平成 26～28 年度入学者用

		スト		発表		リオ			
総合評価割合		60	0	0	0	40	0	0	100 点
評価指標	取り込む力・知識	○				○			
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)			時間(分)		
1	オリエンテーション 腰部・下肢痛	講義 (高橋)		(予習) 腰部の解剖を復習しておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
2	腰痛の評価	講義 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
3	腰痛の理学療法	講義、実技 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
4	腰痛予防	講義、実技 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
5	関節リウマチ	講義 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
6	関節リウマチと理学療法	講義 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
7	頸腕部の痛み	講義 (高橋)		(予習) 頸部の解剖を復習しておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
8	頸腕部の痛み	講義、実技 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
9	PNF	講義 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			60 分		
10	PNF (理論)	講義、実技 (高橋)		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。			60 分		

平成 26～28 年度入学者用

			(復習) 講義内容を理解、暗記すること。	
1 1	PNF (実技、体幹)	講義、実技 (高橋)	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分
1 2	演習	演習 (高橋)	(予習) 関連する過去問をやっておくこと。 (復習) できなかった問題をやること。	120 分
1 3 1 4	外傷・骨折	講義、実技 (佐々木)	(予習) 外傷・骨折について理解を深めておくこと (復習) 講義内容を理解すること	60 分
1 5 1 6	関節外傷	講義、実技 (佐々木)	(予習) 関節外傷について理解を深めておくこと (復習) 講義内容を理解すること	60 分
1 7 1 8	変形性関節症	講義、実技 (佐々木)	(予習) 変形性関節症について理解を深めておくこと (復習) 講義内容を理解すること	60 分
1 9 2 0	模擬症例 1	グループ別 発表	グループごとに与えられた疾患についての病態、評価方法、治療方法をまとめること	120 分
2 1 2 2	模擬症例 2	グループ別 発表	グループごとに与えられた疾患についての病態、評価方法、治療方法をまとめること	120 分
2 3	演習	演習 (佐々木)	(予習) 関連する過去問をやっておくこと。 (復習) できなかった問題をやること。	120 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。